

令和3年度第4回加美町総合教育会議議事録

開催日時 令和4年3月22日（木曜日）
午後3時00分～

開催場所 加美町役場宮崎支所3階大会議室

出席者 加美町長 猪股 洋文
加美町教育委員会 委員 大場 幸 同 委員 大宮 信彦
同 委員 猪股 直美 同 教育長 鎌田 稔

事務局 総務課長 相澤 栄悦 同 課長補佐 遠藤 伸一
教育総務課長 上野 一典 同 課長補佐 伊藤 一衛
同 指導主事 太田 明子 同 学校教育係長 清水 幸恵

協議事項 (1) 加美町立幼稚園等の適正規模・適正配置について
報告事項 (1) 統合中学校の進捗状況について

午後3時00分 開会・開議

○総務課長

皆さんこんにちは。それでは、令和3年度第4回加美町教育総合会議を始めたいと思います。開会にあたりまして、猪股町長よりご挨拶をお願いします。

○猪股町長

皆さんこんにちは。日頃、教育委員会の教育委員の方につきましては、加美町の学校教育の充実にご尽力を賜りまして、心から感謝申し上げます。

ご承知の通り、議会でもようやく統合中学校の校名が決まりました。統合に向けて1年しか残すところはありませんのでしっかりと考えていただきたいと思います。単に2つの中学校が統合するということだけではなく、これを機に教育の質を高めていくということが大事だと思っております。またこども園の統廃合、これも子供たちの数が減っていくと思われまので、避けることはできないということだと思っておりますが、この点についてもですね、やはり教育の質というものを高めることが大事になっております。

先日の議会の中で、教育委員会の方から大阪市の大空小学校の映画を8月に上映するというふうなお話を聞きました。私、ネットで見ましたところ、この大空小学校には校則がない、あるのは唯一、人からして欲しくないことはしない、言わないということだけだ、と言うんですね。私は非常に感銘を受けまして、これまでの学校教育の中では、大人が校

則を作り、規則を作り、これをしていけない、あれをしちゃいけないと、子どもたちは自ら判断して自ら行動することがなくなるんですね。なぜそれがいいのか悪いのかではなく、校則だから先生から言われたからやらない、やる、これではいつまで経っても自分で判断して自分で行動する、自立性の高い子どもは育成できないだろうというふうになります。

ですから、今求められるのは、自ら考えて、自ら判断して、そして自ら課題解決策を見出して仲間と協力して行動するという、そういう大人なんだと思っておりますし、そのための教育というものは、乳幼児教育から始まるしかないだろうというふうに思います。そういったことも踏まえながら、単に減ったから数を減らします、ということではなくて、教育の質を高めていくということも同時に取り組んでいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

今日は統合中学校の進捗状況、それから協議事項としまして、加美町の幼稚園の適正規模、適正配置ということでありますので、忌憚のないご意見をよろしくお願いいたします。

○総務課長

ここからの進行については、猪股町長にお願いいたします。

○猪股町長

はい。それでは協議事項、適正規模・適正配置について、教育委員会の教育総務課の説明をお願いいたします。

(1) 加美町立幼稚園等の適正規模・適正配置について

○資料「加美町立幼稚園等の適正規模・適正配置の考え方（案）」

「加美町立幼児教育・保育施設の再編について-答申-」

上記資料により、学校教育係長より説明。

それでは説明させていただきます。こちらの加美町立幼稚園等の適正規模・適正配置の考え方についてですが、これは園児数が減少しているという状況となりまして、加美町の未就学児の園児数も減少しているということで、その状況にありながら少し微増であるという状況があります。その中で公立の園につきましては、減少が続いていて少人数クラスの編成で今運営を行うという状況でございます。その中で幼児期における教育というのが、将来の人格形成の基礎を培うものと考えておりますので、3歳児、4歳児、5歳児の幼稚園部で子どもたちにとって望ましい教育環境はどうあるべきかを考え、次年度再編を進めながら、適正配置・適正規模を考えていきたいと思っております。園の適正規模、それから適正配置につきましては、定められている、示されていることはなく、他の市町村でも、いろいろそのあたりは、その実情に沿って、考えているという状況があります。

それで、保育現場の適正配置・規模の考え方をまとめまして、今回、外部検討委員会

の方で検討をしていただいたという状況でございます。この外部検討委員会から、赤書きの修正がこちらの答申になりますので、こちらにつきましては、後でご覧いただければと思います。答申を受けまして、こちらの案の方を修正しております。主な修正をした箇所について、ご説明をさせていただきたいと思います。

まず、1ページ目、こちらは少人数クラスの課題です。次に、めぐりまして案の方の2ページ目をご覧ください。こちらについて、これは、それぞれの例の少人数クラスの課題というところを挙げていることです。続いて、3番の適正規模の考え方のところになります。ここでは、3歳児クラス、4歳児クラス、5歳児クラスで、ある程度の規模の集団となるように、適正規模を考えていきたいということで、挙げさせていただきました。

こちらの答申を受けまして、(2)のところになります。集団における様々な体験をする機会を設けるため、集団保育の効果を高めるグループ活動を行うよう、1学級の人数は、3人の小グループが2つ以上とし、人数の下限を6人、そして、全体人数で18人以上です。現場の保育の考え方は、こちらは4人以上、グループが2つ、人数の下限が8人で、24人以上というふうに考えておりましたが、検討委員会での答申を受けまして、こちらを修正しております。(3)ですが、18人に満たない場合は、再編の対象として修正しております。

次の3ページ目をご覧ください。こちらには休園する場合、廃園する場合、統合する場合の考え方を載せてございます。こちらは外部検討委員会の答申を受けまして、地域コミュニティと維持を考えてほしいというご意見がございました。それを踏まえまして、廃園とした後の対応についてこちらを修正して載せております。移住定住によりまして、一定以上の園児数が見込まれる状況となったということが、廃園とする場合の②になります。「一定数の園児が見込まれる状況となったときは、保護者や地域コミュニティと協議して、新たな園の設置について検討する。」こちらは地域コミュニティの維持ということで配慮してほしいということの内容になります。

それから(3)、統合する場合の③についてです。こちらは統合するときのそれぞれの中学校区、今1園を当分の間は配置するという内容になります。ここには書いてないんですけども、答申の中ではやはり園児の通園時間を配慮してほしいということでご意見をいただきました。

それから次の5番です。適正規模・適正配置の今後の進め方の(1)になります。休園、またはすでに適正規模に満たない園についての対応についてです。休園または近隣への統合を検討する間、異なる学年での学級形成による教育保育を行う、こちらも答申の中で配慮してほしいということで、修正するものでございます。

各答申を受けて修正した内容を今回こちらで承認を受けていただきまして、その後この状況についてお話をさせていただきたいのですが、まずは賀美石幼稚園、令和3年4月から休園になっておりますが、こちらの廃園について地域の方に説明を行っていき

たいというふうに考えています。実は3月28日来週ですが、説明会を実施する予定ではあったんですけど、ちょっとコロナの感染の恐れがある状況でありましたので、こちらを延期とさせていただいて、4月以降落ち着いた頃に開催していきたいというふうに考えています。賀美石幼稚園については、6月の定例会の時に議会に廃園の条例を予定させていただきまして、6月末での廃園ということで進めていきたいというふうに考えております。

こちらの考え方については、それから小野田地区、この状況で一番最後のページのところに、これからの園児数の推移ということで示しております。その中で、おのだにし園の令和4年度の3歳児、5人というふうに推計で載せてはいたんですけど、こちら来年の4月の入園児以降は0人になっている状況です。この状況から見て、ひがし園とにし園の統合という時期も来ているということもありまして、小野田地区の保護者の皆様に、こういった形で統廃合を進めていくのかということでの考え方というのでも説明をしていきたいなと考えております。まずは、賀美石幼稚園、次は小野田の地区の方に説明しながら進めていきたいと思っておりますので、ぜひご協力いただければと思います。

適正規模・適正配置の考え方につきましては、以上となります。

○猪股町長

すいません、もう一回お願いします。おのだにし園がゼロというのは？

○学校教育係長

はい、おのだにし園のゼロというのは、3歳クラスの令和4年度の入園数がゼロになります。

○猪股町長

ここには5人と書いてあるんですけども、実際はゼロ？

○学校教育係長

はい、そうですね。令和4年から6年は推計ということで載せておりまして、それぞれひがし園であれば東小学区、それから賀美石小学区、鹿原小学区の児童数、そこにいる児童数を載せております。にし園であれば西小野田小学区の児童数、そこにいる学区にいる年齢のお子さんを載せており、推計を出しているんですけども、にし園の3歳児の令和4年の人数はゼロです。来年は入園者はないという状況でございます。

○猪股町長

この5人はどこに？

○学校教育係長

それぞれおのだひがし園であったり、私立の園であったり、そちらの方に移動しています。もともといたんですけども、転出をしました。別なところ、中新田地区の方に住所を移動されて、そちらの幼稚園へ通われているという方もいらっしゃるって、来年度にし園

の3歳児はゼロとなります。

○猪股町長

はい。みなさんの方からご質問ご意見ありますか？

○大宮委員

そうするとにし園の令和4年度の全員、3歳4歳5歳が17人ということになりますか？令和5年が18人、そして令和6年が15人ということでよろしいんですね。予定では？

○学校教育係長

予定ではそうなります。

○猪股町長

これ、3歳4歳5歳でここズレてきますからね。今後ゼロですね。いかがでしょうか？18人という基準を下回るってことなのね、新年度からね。

○大宮委員

これも統合になる検討に入るんでしょうけども、おのだひがし園とおのだにし園に関しましても、今幼稚園部と保育園でも別個になってますよね。そういう施設関係を考えていくということでもよろしいんですかね、併せて。

○学校教育係長

すみません、説明が抜けてしまったんですけど、こちらの答申の中でやはり施設が離れている園、ひがし園とにし園についてもお話は出ております。やはり一つの園で保育をするのがいいのではないかと。離れていることで、保育士がそれぞれに分散してしまうと園児との交流、先生の方での交流がうまくできないんじゃないかというご意見がありまして、一つの園で教育・保育をするのがいいのではないかという形で、お話をいただきました。

○猪股町長

ぜひ、早速教育委員会の方でそのところも案を作り、ハードの整理ですね。

はい、ほかどうでしょうか。なければ、協議事項はここまでとしたいと思います。

<協議事項終了>

○猪股町長

では、次に統合中学校進捗状況について、報告を願います。

(1) 統合中学校の進捗状況について

○資料「統合中学校の進捗状況について」

上記資料により、教育総務課課長補佐より説明。

はい。私の方から統合中学校の進捗状況ということでご報告させていただきます。まず統合中学校進捗状況についてということでお配りした資料なんですけども、1ページから4ページまでにつきましては、前回の教育委員会または議会全員協議会で説明した時の資料でございますので、内容は変わりございませんので説明は省略させていただきます。

それで6ページ7ページをご覧いただきたいと思います。最初6ページでございます。6ページに鳴峰中学校制服イメージ写真ということで、掲載させていただいてございます。こちらにつきましては、2月15日、準備委員会を開催した際に制服メーカーさん、決定した制服メーカーさんの方で作った3パターンの、すっかりとこれに確定したわけではないですけれども、イメージの写真ということで、当日宮崎公民館で準備委員会開催した際に展示した制服でございます。また、7ページにはそのメーカーさんの方で案として作っていただいております。こちら採用にするか具体的な対応は決まっていますが、今後準備委員会でこういったところの話もしていく予定でございます。

戻っていただきまして、5ページですね。5ページの方を見ていただきたいのですが、この3パターンの制服、現在メーカーさんの方で作成中でございますけれども、4月の下旬に出来上がる予定でございます。制服ができましたら、宮崎公民館とやくらい文化センターの方に6日間、それぞれに展示をしまして、一般の方、ただ今こちらの新制服デザインの投票を行います、のチラシをですね、回覧等で周知しながら、町民の方々にもぜひ制服の方を見ていただきながら、投票をしていただければということで考えてございます。なお、ホームページ上でも、こちらの告知をしまして、ウェブ上でも投票できるようなイメージで今準備を進めているところでございます。

次めくっていただきまして、8ページの方をご覧いただきたいと思います。3月の定例議会で校名の方を鳴峰中学校ということで議会にご承認にいただきましたので、校章の方のデザイン募集ということで広報をかける予定で、その要項案は本日午前中に準備委員会の推進部会という校長先生方とか、教員の一部の方が入って協議する場でございますが、そちらの推進本部の方で、この要項もお認めいただいたところでございます。

校章のデザイン募集の期間でございますが、4月の1日から28日までを予定してございます。基本的にはどなたでも応募していただけるように、こちらをホームページ上で実施するというところで考えてございます。応募条件といたしましては、カラーまたは白黒どちらでもかまいませんということで、考えているところです。

めくっていただきまして9ページでございます。広報の方法といたしまして、3つの方法を考えました。郵送、電子メールに加え、応募箱の設置ということで、期間中にですね、小野田の公民館、宮崎公民館、中新田公民館としてございますが、こちらは中新田公民館、施設が新しくなる関係もございまして、休館日もあるということでしたので、

中新田につきましては図書館、小野田につきましても、公民館についた図書館については現場を見て考えていきたいと思っております。3地区それぞれに応募箱、応募用紙を設置いたしまして、一般の方からも広く応募できるような状況を、こちら側で設定していきたいと思えます。

この校章につきまして、決定方法といたしましては、準備委員会で選考をして校章のデザインを決定していくということで、その応募作品につきましても、町の広報、ホームページで公表するとか、新しい学校になった開校式の際に採用された作品の応募者を公表する予定ということで、今進んでいる状況でございます。

以上、簡単ではございますが、2月15日の準備委員会を経て、それ以降の進捗状況ということで、主なものをご報告いたしました。よろしくお願いいたします。

○猪股町長

ありがとうございます。皆さんはこのサンプルをご覧になっているんですか？今どこにあるんですか、これは？3つのサンプルってのはどこにあるんですか？

○教育総務課長補佐

制服は今作製中でございます、この写真については、それをイメージできるサンプルとしてメーカーさんが持ってきたものでございます。

○猪股町長

写真だけなのね、まだね。

○教育総務課長補佐

そうです。その時展示したのはイメージということで。展示はしたんですけど、それは…。

○猪股町長

持ち帰られたもんね。

○教育総務課長補佐

そうです。実際には加美町オリジナルのタータンチェックというのが、そのメーカーさんの鳴峰中学校どこにもない、そのタータンチェック柄を今作製中ということで、今後実際のもが出てくる状況でございます。

○猪股町長

ではまだこのオリジナルのタータンチェックではないのね、これはね。

○教育総務課長補佐

そうなんです。これまで他校で使われてきたものをちょっとイメージとして上げているだけなので、これらはあくまでこの間2月15日に展示した時の物でございます。

○大宮委員

ちなみに、この制服というのはどれくらいかかるものですかね。

○教育総務課長補佐

43,000 円から 45,000 円の間で収まるように、そのボタンとか、そういったところの素材とかで若干、金額変わらないかもしれませんが、43,000 円から 45,000 円の間で収まるということで、メーカーさんとお話をしております。

○猪股町長

これ、Y シャツとか含めての金額なの？43,000 円というのは。どこまでの。

○教育総務課長補佐

はい。Y シャツとか、中のものについては、入ってない金額でございます。シャツにしても、ポロシャツにしても、推奨品として今後ご提示はしますけども、それはあくまで推奨品ということで、自由に選択ができるようなイメージで、今後進めていくつもりでございます。

○猪股町長

ブレザーと、パンツと、あとネクタイなんですね。43,000 円というのは。

○大場委員

サンプルなんでしょうけれども、この制服っていうのは、やっぱり、色々考え方だと思えますけれども。あくまでも、これは冬季用で夏季の制服っていうのも、必要ではないのかなと私は思うんですね。先ほど、シャツが含まれていないといたんですけれども、夏になったらこのブレザーは脱ぐわけですよ。セットで両方必要ではないのかなと私は思います。ですから普通はだいたい、例えば夏であれば、シャツに先ほど言ったエンブレムになるか分かりませんが、そういったものを、刺繍を入れるとか、色々あるかと思えます。そこも含めて、考えるべきではないかなと思います。

あと、もう一つ、先ほど、タータンチェックは、自ら決めるっていう、お声がありますけれども、これ、とても大事なことで、イギリスでは、私は、女子制服が変わる時に以前、タッチしたことあるので、この、タータンチェックっていうのは、イギリスでは、この、日本で言えば、家紋に相当するくらいのもなんですね。だから、タータンチェックっていうのは、一つ一つ違うんだそうです。だから、この辺、少し吟味をするべきで、もっと後、よくそのことを知っている方に、いろいろ見ていただいた方が、あまりこういうと、一般的になりますけれども、そういった、こう、分かっている方ですね。タータンチェックは、これ、やっぱり見る人が見たら、例えば、これは、加美町の生徒のオリジナル、本当のことになるわけですから。

その2点について、一つお願いしたいと思います。

○猪股町長

はい。夏用のシャツですけれども、お考えとしては。

○指導主事

制服の夏用の仕様については、現行の、宮崎中学校と同じ中学校の方とか、あのブレザーを脱いで、スカートと、ワイシャツというような形になっておりましたので、今回の夏に関しては、上着を脱いで、スカートとワイシャツ、ブラウスというような形で考えてお

ります。また、夏季がすごく暑くなってきておりますので、制服を上下で着用するというよりは簡易な服装ということで、乾きやすいタイプのポロシャツだったり、それからあとは、ジャージ登校という日もたくさんありますので、その中で温度調節もありますので、夏季の制服ということでは検討には入らないということになっております。

それから 2 点目のタータンチェックにつきましては、今回、制服メーカーさんの方では、スコットランドの会社の方と提携しておりまして、商標登録をしてもらおうということになっております。

○猪股町長

はい、ということで、この件については、着やすさとか、あと、保護者の負担というのものもあるでしょうかね、特に定めないと。スコットランドの会社の方と提携しているということで、ここは安心できると思いますので、そういうことでどうでしょうか。

○大場委員

検討委員会で諮るんでしょうか。ただ一つの案として。

○猪股町長

そうですね、そういう声があったということを検討委員会にもお伝えください。

○大場委員

はい。もう一つよろしいですか。最近、私は高校生とか、中学生の制服についてなんですけれども、今、女子生徒でも、スラックスを認めてほしいという、何かありますよね。何か、ジェンダーレスというんですかね。スカートではなくですね。今後、やっぱりそういったことも、考えられないのかなと、思うんですけれども、その辺は？今、ここで回答は出ないと思いますけれども。

○猪股町長

はい。考え方、教育総務課お願いします。

○指導主事

はい。ジェンダーレスの考え方についても、議論・検討を進めてまいりまして、今回、女子の生徒さんの方で、スラックスを交換、それから交換の観点から、選ぶ場合が可能となっております。それから、男子用のスラックスについての柄というのは、タータンチェックですと、すごく派手なイメージになりますので、女子のタータンチェックと、調和が取れるような形での色味を出していただくことになっておりますので、男子用のスラックスの柄を選ぶこともできますし、女子のタータンチェック柄、女子のスカートに採用されるタータンチェック柄を使用したスラックスタイプも、両方選択可能となっております。

また、ネクタイ 2 本につきましても、どちらでも選択可というふうになりますので、生徒さんご自身で、選ぶ幅を広げるような形で、制服の方も検討を進めているところです。

以上です。

○猪股町長

はい、ありがとうございました。大事な考え方ですね。

○猪股委員

すみません、今、先ほどのお話を聞いて、男子のスラックスというのは、タータンチェックにはならないということなのですか？

○指導主事

タータンチェック柄の幅がすごく広いので、男子用の制服で、スラックスで、そのズボンを作ってしまうと、非常に、男子には、調和が取れないというか、そういったところで、色目を、同じような色目で、そして、タータンチェックの幅を少し狭くするような形の、女子との調和が取れるような形というふうになっております。

ただ、男子、女子で調和を持たせるために、加美町のオリジナルのタータンチェックができましたら、それを男子のネクタイ、それからリボンと同じタータンチェックを入れることによって、統一感を持たせるような形で提案をされております。

○猪股町長

はい。よろしいですか。これは、イメージですから。これ、まだ、加美町のタータンチェック柄ができない段階でのイメージですもんね。これにもっと、この目の細かなチェックが入るといことですね。ズボンに。はい、どうぞ。

○大宮委員

金額が約 43,000 円から 45,000 円で、あとはポロシャツとか、いろんなものを加えて、50,000 円近くにはなってしまうと思うんですけども。そうすると、3 年生で統合した場合、新設学校いった場合、一年しか着ないわけですよ。そうすると、なんかもったいないような感じもするんですけども。

そうすると、多分、採寸して作るので、他の人には合わないかもしれませんが、それがリサイクルできるようなシステムみたいなのを構築していった方、経済的ではないかなと思うので、制服いらない人は、また返してくださいというような。その時、1 割じゃなく 3 割くらいも返しますよというような感じで、そういうのって無理なんですかね。

○指導主事

自治体によって、そういったシステム、リサイクルとか、SDGs の観点から、製品を回収して、そして、また使っていくというのは、仙台市さんとかでは、やっているように思っております。それから、PTA が集めて、そして、PTA の方でやっていたところもあるそうなんですけれども、今町としても、こちらの制服については、3 年間以上持ちそうな耐久性もあるものということで選んでおりますので、そういったことも今後、学校の PTA 活動と、それから生徒会活動等で不要になったものをどこかにストックしていただいて、というようなシステムは構築できると思います。それから、今回、メーカーさんの方でも、SDGs の関係からそういったリサイクルについてのノウハウをお持ちだということだったので、今後、そういったところも検討していければと思います。

それから、値段についてなんですけれども、あくまでもメーカー希望小売価格ということで卸していただきますので、販売店さんがそこに利幅を設けて設定するという事なので、メーカーさんで出す価格が、38,000円から40,000円前後というところなので、そこに販売店さんが上乗せして販売という形が一般的になっておりますので、先ほど申し上げた金額についても、確定したというものではございません。

○猪股町長

確認なんですけど、新しい制服にするのは1年生だけなんですよ？2、3年生はこれまでの制服を着るんですよね。そのことを言ってるんですよ？

○大宮委員

ああ、そうですか。全員同じになるわけじゃないのね。

○猪股町長

そうそう。それで、体育着だけは、全員同じものを着れるように、町の方で予算化して、町の方で支援をしていくということです。制服については、2年間は旧制服を着ることになりますね。2年、3年生はね。いいですよ。

○猪股委員

はい。ちなみに、その2年、3年生が、販売店で買うという場合、購入は可能なんですよ。結構、保護者の方で、今、新1年生になる方、中学校の制服を欲しくて、という方たちが結構いらっしゃって、やっぱり、新しい制服、新しい学校の中で、着させてあげたいという方がいたので。

○猪股町長

はい。それは可能ということですね。

○猪股委員

体育着の案というのはまだ出てきてないんですか？

○教育総務課長

今日も推進本部会を開いて、6社ぐらいから提案をさせていただいております。それで、今、選定をしておりますので、あと準備委員会で1案を選定するとしております。

○猪股町長

今現在、それぞれ部活ごとに作ったりしているようなんですけれども、そうしなくてもよいようなデザインのものを選ぶということですよね。デザイン性のあるものをね。そのまま大会に着ていけるようなね。はい、ほかどうでしょうか。

○大宮委員

はい。制服とかではないんですけれども、名前が決まったので。校歌というのは、大体いつごろまで作る予定で、今進めているのでしょうか？

○猪股町長

はい、じゃあ校歌について、教育総務課。

○教育総務課長

校歌については、だいぶ悩んでいます。もう3ヶ月くらい悩んで、悩んで。とりあえず、今の小野中、宮中の校長先生方に、詩はつくってもらっていましたが、ただそこにですね、やっぱり子供たちの意向というか、ご意見を出したい、入れたいということで、今、校歌策定委員会、宮中4名、小野中4名で構成して、その子供たちも含めて、今検討しているところでございます。

なお、まだまだ作曲の方もちょっと、検討中になります。基本的に校歌については、校歌らしい校歌ではなくて、こどもたちの応援歌になるような、まあ、そういう校歌も今、いろいろ作られていますので、そこらへんも踏まえて、ちょっと作成したいなど、という考えにも進めているところでございます。もうちょっと、お待ちいただきたいと思えます。

○猪股町長

はい、ということです。ほかどうでしょうか。それから、ちょっと校名のことに関して、議会の中で、その、やくらいも、鳴瀬川も、小野田だけじゃないかというふうな、こういう意見もあったんですが。私、議員のお話し聞いてて思ったのはですね、ご承知のとおり、この宮崎の新田開発というのは、江戸時代ですね。新田開発というのは、鳴瀬川から水を持っていっているんですよね。ですからまさに、というのは、この大地を潤している、小野田だけの、中新田だけの川ではなくてね、加美町全体を潤してる川だという認識をですね、皆さん持っていただく必要があるんだろうというふうに思っていますので、ぜひ世界農業遺産の中でね、せみ堰から当時の石母田さんが新田開発したわけですが、そういったことなども、皆さんにご理解いただくということも、大事なのかなとも、聞きながら思いました。決して、小野田ばっかしということではないということですよね。

ほかに皆さんなにかありますか。なければ、以上で、協議事項、報告を終了したいと思います。

<報告事項終了>

○猪股町長

その他、何か、教育委員会、総務課、教育総務課ありますか。

○大場委員

その他だから、別のことでもいいですか。別のことっていうか、先ほど、教育委員会でも、中学校と中新田高校の連携のこともありまして、いろいろ、結局、ファンが今後、やっていくっていうようなお話でしたが、私は加美町と非常に似ている学校があるので、高等学校があるので、これは広島県に、この間の年末に京都の駅伝で優勝した瀬良っていう、瀬良高校。瀬良町って大体人口がですね、14,000人くらいで、三町合併した町で、それでそこに、瀬良高校っていうのがありまして。

瀬良高校は、今、生徒が、1学年、160人くらいだったと思うんですが、約、全校生徒

が、400人の規模の学校です。全国駅伝で、10回も優勝した学校で、要するに、ここが、瀬良町の町自体が瀬良高校を応援してですね、中学校の時から生徒たちが駅伝のコースを町民の力で作ったんですね。非常にトレーニングに向いている起伏のあるもので、それが町民のバックアップでできた、要するに瀬良高校の生徒たちがそれに乗かって地元の子どもがそこに入っている。女子2回ですか。今では、瀬良高校は他県からも、駅伝で有名な学校ですので、他県からも来るし、今留学生も来ているんですね。ケニア人の留学生とか、それで部員だけでもだいたい50人近くいるので。

ですから、非常にそういった意味で、町民の力、そして町では、瀬良高校に何をしているかということ、全国の瀬良高校ですので、町外から通ってくる子どもに援助しているんですね。何を援助しているかということ、通学の交通費の負担を援助しているんですね。瀬良町自体が。瀬良高校に通ってくるんですね。そうやって、要するに町外の子どもたちも通いやすくですね。もうどんどんどん、そのような、今では広島県で瀬良高校を非常に中枢の学校、中枢というか、駅伝でもう10回も優勝しているので、全国優勝。力を入れていてですね、青山学院大学、これは箱根駅伝で、原進監督が、瀬良町の町民が作ったんですね、駅伝コース、コースをなんか、青山学院大学で、公認コースにして、そこで合宿に来ているので、やっぱりこう、なんて言うんですかね、こう全国に挙げられるものが、やっぱりこう、中学校、高校が連携してですね、だいたいほとんど、よそからも瀬良高校の駅伝チームの生徒はいますけれども、基本に土台となっているのが地元の中学生徒。

学校も、そして中学校も3つあるんですけども、なんかこう、加美町とか、そういったパターン、規模が似てるなあと思って。私と言うと、ネットとか、まあ、瀬良高校で私、高校の先生とも付き合いがあったので、電話でも聞いたんですけど、今ではもう、ケニア人も、なんか入れてですね、あの生徒ですね。だからもう、むしろこう、全国で優勝したり、そうやって何度も、そういうこう、校名を上げていけば、周りから集まってくるんですね。

まあ、ぜひ、加美町で、中高と連携ですね、中新田高校が取って、いろんな方法があるかとは思いますが、その辺、こう、もっともっと広くですね、いろんな参考になる学校をですね、見てやっぱりこう、加美町に合うものが何だろうかっていう、こう、生み出したらいいなっていう、町の活性化にも、つながれば、なおいいなっていう、私は思っています。よろしくお願いします。

○猪股町長

貴重な情報ありがとうございます。ほか、何かありますか。なければ、総務課長、時間終わっているので閉めていただいて。

○総務課長

長時間にわたりましてご協議ありがとうございました。

以上をもちまして、第4回加美町総合会議を終了させていただきます。大変お疲れ様でした。